



2022年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社
 コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長谷部 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 牧野 秀生 TEL 03-3660-7111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 2022年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	733,901	8.7	53,661	△23.9	60,472	△18.4	39,759	△25.6	38,888	△26.0	110,587	38.3
2021年12月期第2四半期	675,179	1.2	70,551	△5.3	74,133	0.5	53,455	3.7	52,538	3.8	79,988	94.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	82.17	82.16
2021年12月期第2四半期	110.12	110.12

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第2四半期	1,761,180	1,039,738	1,015,822	57.7	2,163.56
2021年12月期	1,704,007	983,877	965,137	56.6	2,036.66

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	72.00	—	72.00	144.00
2022年12月期	—	74.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	74.00	148.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,570,000	10.7	145,000	1.0	156,000	4.0	111,000	1.2	236.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	475,000,000株	2021年12月期	475,000,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	5,485,649株	2021年12月期	1,117,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	473,275,863株	2021年12月期2Q	477,079,090株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】5ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する概要	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(7) 継続企業の前提に関する注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する概要

注：以下、() 付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2022年12月期 第2四半期累計期間	7,339	537	7.3	605	398	389	82.17
2021年12月期 第2四半期累計期間	6,752	706	10.4	741	535	525	110.12
増減率	8.7% 実質 4.2%	(23.9)%	—	(18.4)%	(25.6)%	(26.0)%	(25.4)%

世界経済は回復基調にありますが、原材料価格の高騰や急激な為替変動、さらにはロシア・ウクライナ問題や新型コロナウイルスの変異株の感染拡大等、経営環境は不透明な状況が続きました。特に石化原料の価格はこれまでにない水準にまで高騰が続いています。

当社グループの主要市場である日本のコンシューマープロダクツ（トイレットリー及び化粧品）市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、2022年1月から6月において前年同期を若干上回りました。

このような中、2022年2月に発表した資本配分の考え方、ブランドマネジメントの改革、そして販売価格の改定等の経営戦略を順調に進めています。

売上高は、前年同期に対して8.7%増の7,339億円（実質4.2%増）となりました。**営業利益**は537億円（対前年同期169億円減）となり、**税引前四半期利益**は605億円（対前年同期137億円減）となりました。**四半期利益**は398億円（対前年同期137億円減）となりました。

なお、2022年5月11日開催の取締役会において、資本効率の向上と株主への一層の利益還元のため、5月12日から8月31日までの間に、株式総数12,000千株または取得価額の総額500億円を上限とする自己株式の取得を決議しました。2022年6月30日現在で株式総数4,398千株、取得価額の総額226億円の取得を実施しました。

当第2四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月	第2四半期 4-6月
米ドル	116.30円 [105.96円]	129.69円 [109.47円]
ユーロ	130.45円 [127.74円]	138.14円 [131.90円]
中国元	18.32円 [16.35円]	19.63円 [16.95円]

注：[]内は前年同期の換算レート

〔セグメント別の概況〕

セグメントの業績

	売上高				営業利益				増減 (億円)
	第2四半期累計期間		増減率		第2四半期累計期間				
	2021年 12月期 (億円)	2022年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2021年12月期		2022年12月期		
				(億円)	利益率 (%)	(億円)	利益率 (%)		
ハイジーン&リビングケア事業	2,348	2,383	1.5	(1.4)	260	11.1	131	5.5	(130)
ヘルス&ビューティケア事業	1,740	1,768	1.6	(2.9)	263	15.1	182	10.3	(81)
ライフケア事業	249	258	3.8	1.0	16	6.3	(1)	(0.4)	(17)
化粧品事業	1,106	1,160	4.9	1.0	(5)	(0.4)	22	1.9	27
コンシューマープロダクツ事業	5,442	5,569	2.3	(1.3)	534	9.8	333	6.0	(201)
ケミカル事業	1,504	1,991	32.4	25.1	168	11.1	201	10.1	34
小 計	6,946	7,560	8.8	4.4	702	—	535	—	(167)
セグメント間消去又は調整	(194)	(221)	—	—	4	—	2	—	(2)
合 計	6,752	7,339	8.7	4.2	706	10.4	537	7.3	(169)

販売実績

第2四半期累計期間		(億円、増減率%)					合計
		日本	アジア	米州	欧州		
ファブリック&ホームケア製品	2021年	1,327	197	14	—	1,538	
	2022年	1,326	209	17	—	1,552	
	増減率	(0.1)	6.5	24.9	—	0.9	
	実質	(0.1)	(2.6)	17.6	—	(0.3)	
サニタリー製品	2021年	387	422	1	—	810	
	2022年	370	460	0	—	831	
	増減率	(4.4)	9.1	(42.0)	—	2.6	
	実質	(4.4)	(2.8)	(45.2)	—	(3.6)	
ハイジーン&リビングケア事業	2021年	1,715	619	14	—	2,348	
	2022年	1,696	670	18	—	2,383	
	増減率	(1.1)	8.3	22.4	—	1.5	
	実質	(1.1)	(2.7)	15.3	—	(1.4)	
ヘルス&ビューティケア事業	2021年	1,004	153	383	199	1,740	
	2022年	959	164	431	213	1,768	
	増減率	(4.5)	7.1	12.5	7.3	1.6	
	実質	(4.5)	(3.8)	(1.4)	2.8	(2.9)	
ライフケア事業	2021年	202	0	46	1	249	
	2022年	203	0	54	1	258	
	増減率	0.3	49.4	19.0	1.4	3.8	
	実質	0.3	35.0	4.3	(4.9)	1.0	
化粧品事業	2021年	723	275	26	81	1,106	
	2022年	737	297	29	97	1,160	
	増減率	1.9	8.2	10.8	19.0	4.9	
	実質	1.9	(4.6)	(2.9)	13.1	1.0	
コンシューマープロダクツ事業	2021年	3,644	1,047	470	281	5,442	
	2022年	3,594	1,132	532	311	5,569	
	増減率	(1.4)	8.1	13.3	10.7	2.3	
	実質	(1.4)	(3.3)	(0.4)	5.8	(1.3)	
ケミカル事業	2021年	593	348	224	339	1,504	
	2022年	682	501	342	466	1,991	
	増減率	15.0	44.2	52.6	37.3	32.4	
	実質	15.0	29.3	33.5	32.7	25.1	
セグメント間売上高の消去	2021年	(167)	(16)	(0)	(10)	(194)	
	2022年	(190)	(19)	(1)	(11)	(221)	
売上高	2021年	4,070	1,379	693	609	6,752	
	2022年	4,087	1,614	873	765	7,339	
	増減率	0.4	17.1	26.0	25.5	8.7	
	実質	0.4	4.8	10.5	20.8	4.2	

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の42.2%から46.3%となりました。

コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して2.3%増の5,569億円（実質1.3%減）となりました。

欧米各国を中心に、感染症対策と経済活動の正常化を両立させる試みが世界各地で本格化しています。日本では様々な規制が緩和され、徐々に市場の回復が見え始めましたが、原材料価格の高騰や物流費の上昇の影響を大きく受けました。このような中、実質的な値上げに繋がる様々な施策を実施するとともにコストダウンを進め、影響を最小化することに努めました。海外でも値上げを積極的に実施しました。中国では4月から都市封鎖が行われ、業績に大きな影響がありました。

日本の売上高は、前年同期に対して1.4%減の3,594億円となりました。

アジアでは、売上高は8.1%増の1,132億円（実質3.3%減）となりました。

米州の売上高は、13.3%増の532億円（実質0.4%減）となり、欧州の売上高は、10.7%増の311億円（実質5.8%増）となりました。

営業利益は、原材料価格高騰の影響等があり、333億円（対前年同期201億円減）となりました。

当社は、【ハイジーン&リビングケア事業】、【ヘルス&ビューティケア事業】、【ライフケア事業】、【化粧品事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としています。

【ハイジーン&リビングケア事業】

売上高は、前年同期に対し1.5%増の2,383億円(実質1.4%減)となりました。

ファブリックケア製品は、ほぼ前年並みに推移しました。日本では、原材料価格高騰の影響を最小化するため、衣料用洗剤の改良品の発売に合わせて戦略的な値上げを実施するとともに、マーケティング活動を強化したことにより順調に推移しました。アジアでは、4月に始まった中国での都市封鎖の影響を受け、売り上げは前年同期を下回りました。

ホームケア製品は、日本では、市場縮小の影響を受け売り上げは前年同期をわずかに下回りましたが、食器用洗剤「キュキュット」や浴室用洗剤「バスマジックリン」でシェアを大きく伸ばさせました。

サニタリー製品は、前年同期を上回りました。生理用品「ロリエ」が、インドネシアで好調に推移し、日本では前年同期を上回りました。ベビー用紙おむつ「メリーズ」は、前年同期を下回りました。インドネシアでは、販売促進活動の強化により好調に推移しました。日本では、4月からの値上げを実施し計画通り進んでいます。一方中国では、市場縮小や現地生産品の育成不足により売り上げは、前年同期を下回りました。

営業利益は、原材料価格高騰が大きく影響し、131億円(対前年同期130億円減)となりました。

【ヘルス&ビューティケア事業】

売上高は、前年同期に対して1.6%増の1,768億円(実質2.9%減)となりました。

スキンケア製品は、売り上げは前年同期を下回りました。日本では早い梅雨明けと猛暑の影響もあり、UVケア製品等のシーズン品の売り上げは順調に伸ばしましたが、一方、手指消毒液は、市場縮小が続く売り上げは減少しましたが、シェアは上がりました。また米国では物流の混乱は徐々に回復傾向にあります。

ヘアケア製品は、売り上げは前年同期を下回りました。欧米のヘアサロン向け製品は好調を維持しました。米国の「Oribe(オリベ)」は、コアのサロンチャンネルでの伸長に加えEコマースを中心に好調に推移しました。日本のマス向け製品は厳しい競争環境が続いている中、抜本的な事業変革を進めています。

パーソナルヘルス製品の売り上げは、前年同期を下回りました。「めぐりズム」は順調に売り上げを伸ばしましたが、入浴剤は前年同期を下回りました。

営業利益は、原材料価格高騰等が大きく影響し、182億円(対前年同期81億円減)となりました。

【ライフケア事業】

売上高は、前年同期に対して3.8%増の258億円(実質1.0%増)となりました。

業務用衛生製品は、日本では市場が前年同期に比べて大きく回復しています。特に外食産業や宿泊施設等で厨房用洗剤や客室消耗品の需要が高まり、売り上げは伸ばしました。米国では好調な経済に支えられ対象業界が伸長し、売り上げは前年同期を上回りました。

健康飲料は、特定保健用食品「ヘルシア」で、Eコマースでのロイヤルユーザー拡大が進みましたが、既存量販店での落ち込みをカバーするまでには至らず、売り上げは前年同期に比べて減少しました。

営業利益は、原材料価格高騰が影響し、1億円の損失(対前年同期17億円減)となりました。

【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対して4.9%増の1,160億円(実質1.0%増)となりました。

化粧品事業は、日本では、市場の回復が想定を下回る中、「SUQQU」や「KATE」等のグローバル戦略ブランド「G11」の新製品が順調に推移しました。また固定費削減やメイク事業の構造改革を順調に進めています。中国では、都市封鎖の影響で物流が滞り大きな影響を受けました。欧州では、「SENSAI」や「モルトンブラウン」が市場を大きく上回る伸長を遂げました。

営業利益は、22億円(対前年同期27億円増)となりました。

ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して32.4%増の1,991億円(実質25.1%増)となりました。

油脂製品では、天然油脂価格の上昇に伴う販売価格の改定に継続して努めたことも貢献し、売り上げは伸ばしました。

機能材料製品は、自動車関連分野での需要減の影響を受けましたが、原料価格上昇に伴う販売価格の改定を進めて、売り上げは伸ばしました。

情報材料製品では、トナー・トナーバインダーは需要の回復を着実に捉えて伸長し、ハードディスク関連製品も堅調に推移しました。

営業利益は、201億円(対前年同期34億円増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想数値の修正

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	税引前利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 (億円)	基本的 1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A) ※	14,900	1,600	1,600	1,170	249.99
今回修正予想 (B)	15,700	1,450	1,560	1,110	236.53
増減額 (B-A)	800	(150)	(40)	(60)	—
増減率	5.4%	(9.4)%	(2.5)%	(5.1)%	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	14,188	1,435	1,500	1,096	230.59

※2022年5月11日発表の2022年12月期通期連結業績予想

経営成績に関する概要で記載した通り、第2四半期累計期間の経営成績は、原材料価格高騰や中国での都市封鎖等の影響を受け非常に厳しい結果となりました。

第3四半期以降についても、原材料価格高騰の影響や物流費の上昇、インフレによる景気減速懸念等で、厳しい事業環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、戦略的値上げをグローバルに実施するとともに、コスト構造改革等を徹底して実行していきますが、2022年5月11日に公表した業績予想を達成することは困難と判断したため、連結業績予想の修正を行います。

連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、130円/米ドル、138円/ユーロ、20円/中国元です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年6月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	336,069	280,527	(55,542)
営業債権及びその他の債権	216,209	225,216	9,007
棚卸資産	228,070	284,135	56,065
その他の金融資産	6,094	7,857	1,763
未収法人所得税	2,508	7,038	4,530
その他の流動資産	20,842	22,053	1,211
流動資産合計	809,792	826,826	17,034
非流動資産			
有形固定資産	428,609	450,580	21,971
使用権資産	144,057	144,502	445
のれん	183,498	194,154	10,656
無形資産	52,636	59,059	6,423
持分法で会計処理されている投資	10,050	10,240	190
その他の金融資産	23,588	22,910	(678)
繰延税金資産	41,348	41,230	(118)
その他の非流動資産	10,429	11,679	1,250
非流動資産合計	894,215	934,354	40,139
資産合計	1,704,007	1,761,180	57,173

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年6月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	229,086	238,362	9,276
社債及び借入金	6,156	71,700	65,544
リース負債	19,929	20,265	336
その他の金融負債	6,329	2,583	(3,746)
未払法人所得税等	24,078	22,345	(1,733)
引当金	2,041	1,465	(576)
契約負債等	31,143	35,820	4,677
その他の流動負債	103,135	95,761	(7,374)
流動負債合計	421,897	488,301	66,404
非流動負債			
社債及び借入金	121,581	55,382	(66,199)
リース負債	121,016	120,755	(261)
その他の金融負債	7,070	7,339	269
退職給付に係る負債	29,843	29,762	(81)
引当金	8,187	8,356	169
繰延税金負債	5,830	6,498	668
その他の非流動負債	4,706	5,049	343
非流動負債合計	298,233	233,141	(65,092)
負債合計	720,130	721,442	1,312
資本			
資本金	85,424	85,424	—
資本剰余金	105,633	105,710	77
自己株式	(3,960)	(26,327)	(22,367)
その他の資本の構成要素	(3,723)	64,130	67,853
利益剰余金	781,763	786,885	5,122
親会社の所有者に帰属する持分合計	965,137	1,015,822	50,685
非支配持分	18,740	23,916	5,176
資本合計	983,877	1,039,738	55,861
負債及び資本合計	1,704,007	1,761,180	57,173

(2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第2四半期	当第2四半期	増減
		連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	675,179	733,901	58,722
売上原価		(397,754)	(467,741)	(69,987)
売上総利益		277,425	266,160	(11,265)
販売費及び一般管理費	2	(208,753)	(215,017)	(6,264)
その他の営業収益		8,892	8,882	(10)
その他の営業費用		(7,013)	(6,364)	649
営業利益	1	70,551	53,661	(16,890)
金融収益		3,537	6,577	3,040
金融費用		(1,297)	(1,199)	98
持分法による投資利益		1,342	1,433	91
税引前四半期利益		74,133	60,472	(13,661)
法人所得税		(20,678)	(20,713)	(35)
四半期利益		53,455	39,759	(13,696)
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		52,538	38,888	(13,650)
非支配持分		917	871	(46)
四半期利益		53,455	39,759	(13,696)
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		110.12	82.17	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		110.12	82.16	

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	53,455	39,759	(13,696)
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	512	77	(435)
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	184	(126)	(310)
純損益に振り替えられることのない項目合計	696	(49)	(745)
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	25,589	70,078	44,489
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	248	799	551
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	25,837	70,877	45,040
税引後その他の包括利益	26,533	70,828	44,295
四半期包括利益	79,988	110,587	30,599
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	78,380	107,190	28,810
非支配持分	1,608	3,397	1,789
四半期包括利益	79,988	110,587	30,599

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	85,424	106,618	(3,865)	268	(49,368)	(0)	5,724
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	25,143	3	696
四半期包括利益	—	—	—	—	25,143	3	696
自己株式の処分	—	(334)	51,682	(78)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(51,787)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	185	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分 の変動	—	(1,021)	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	(3)	—	—	(338)
所有者との取引等合計	—	(1,170)	(105)	(81)	—	—	(338)
2021年6月30日残高	85,424	105,448	(3,970)	187	(24,225)	3	6,082

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	資本合計
	合計	利益剰余金	合計		
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	(43,376)	778,886	923,687	14,507	938,194
四半期利益	—	52,538	52,538	917	53,455
その他の包括利益	25,842	—	25,842	691	26,533
四半期包括利益	25,842	52,538	78,380	1,608	79,988
自己株式の処分	(78)	(51,268)	2	—	2
自己株式の取得	—	—	(51,787)	—	(51,787)
株式に基づく報酬取引	—	—	185	—	185
配当金	—	(33,676)	(33,676)	(796)	(34,472)
子会社に対する所有者持分 の変動	—	—	(1,021)	1,584	563
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(341)	341	—	—	—
所有者との取引等合計	(419)	(84,603)	(86,297)	788	(85,509)
2021年6月30日残高	(17,953)	746,821	915,770	16,903	932,673

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2022年1月1日残高	85,424	105,633	(3,960)	175	(9,678)	(0)	5,780
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	68,340	11	(49)
四半期包括利益	—	—	—	—	68,340	11	(49)
自己株式の処分	—	(120)	216	(74)	—	—	—
自己株式の取得	—	(0)	(22,583)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	190	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分 の変動	—	7	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	(28)	—	—	(347)
所有者との取引等合計	—	77	(22,367)	(102)	—	—	(347)
2022年6月30日残高	85,424	105,710	(26,327)	73	58,662	11	5,384

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	資本合計
	合計	利益剰余金	合計		
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2022年1月1日残高	(3,723)	781,763	965,137	18,740	983,877
四半期利益	—	38,888	38,888	871	39,759
その他の包括利益	68,302	—	68,302	2,526	70,828
四半期包括利益	68,302	38,888	107,190	3,397	110,587
自己株式の処分	(74)	(21)	1	—	1
自己株式の取得	—	—	(22,583)	—	(22,583)
株式に基づく報酬取引	—	—	190	—	190
配当金	—	(34,120)	(34,120)	(359)	(34,479)
子会社に対する所有者持分 の変動	—	—	7	2,138	2,145
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(375)	375	—	—	—
所有者との取引等合計	(449)	(33,766)	(56,505)	1,779	(54,726)
2022年6月30日残高	64,130	786,885	1,015,822	23,916	1,039,738

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	74,133	60,472
減価償却費及び償却費	43,641	44,023
受取利息及び受取配当金	(631)	(826)
支払利息	1,020	944
持分法による投資損益(益)	(1,342)	(1,433)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	1,476	1,210
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	24,710	14,207
棚卸資産の増減額(増加)	(16,924)	(36,657)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(9,073)	(5,248)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(4,097)	(1,887)
その他	(18,434)	(22,857)
小計	94,479	51,948
利息の受取額	571	728
配当金の受取額	2,173	2,396
利息の支払額	(1,020)	(932)
法人所得税等の支払額	(31,617)	(26,396)
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,586	27,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(6,200)	(4,625)
定期預金の払戻による収入	7,066	5,842
有形固定資産の取得による支出	(32,650)	(36,986)
無形資産の取得による支出	(4,357)	(4,691)
その他	1,488	411
投資活動によるキャッシュ・フロー	(34,653)	(40,049)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	160	(160)
長期借入による収入	10,091	—
長期借入金の返済による支出	(11,159)	(1,351)
リース負債の返済による支出	(10,700)	(10,831)
自己株式の取得による支出	(51,787)	(22,583)
支払配当金	(33,708)	(34,148)
非支配持分への支払配当金	(321)	(207)
その他	802	2,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	(96,622)	(67,238)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(66,689)	(79,543)
現金及び現金同等物の期首残高	353,176	336,069
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	9,640	24,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	296,127	280,527

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント		主要製品	
コンシューマー プロダクツ事業	ハイジーン&リビングケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤
		ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
	ヘルス&ビューティケア事業	スキンケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗淨料
		ヘアケア製品	シャンプー、コンディショナー、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき、歯ブラシ、温熱用品
ライフケア事業	ライフケア製品	業務用衛生製品、健康飲料	
化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品	
ケミカル事業	油脂製品	オレオケミカル、油脂誘導体、界面活性剤、香料	
	機能材料製品	コンクリート用減水剤、鑄物砂用バインダー、プラスチック用添加剤、各種産業用薬剤	
	情報材料製品	トナー、トナーバインダー、インクジェット用色材、インク、ハードディスク研磨液・洗淨剤、半導体製造用薬剤・材料	

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	234,772	173,959	24,867	110,576	544,174	131,005	675,179	—	675,179
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	19,398	19,398	(19,398)	—
売上高合計	<u>234,772</u>	<u>173,959</u>	<u>24,867</u>	<u>110,576</u>	<u>544,174</u>	<u>150,403</u>	<u>694,577</u>	<u>(19,398)</u>	<u>675,179</u>
営業利益（又は損失）	<u>26,048</u>	<u>26,296</u>	<u>1,571</u>	<u>(477)</u>	<u>53,438</u>	<u>16,756</u>	<u>70,194</u>	<u>357</u>	<u>70,551</u>
金融収益									3,537
金融費用									(1,297)
持分法による投資利益									1,342
税引前四半期利益									<u>74,133</u>

(注1) 営業利益（又は損失）の調整額357百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	238,335	176,751	25,804	115,989	556,879	177,022	733,901	—	733,901
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	22,090	22,090	(22,090)	—
売上高合計	<u>238,335</u>	<u>176,751</u>	<u>25,804</u>	<u>115,989</u>	<u>556,879</u>	<u>199,112</u>	<u>755,991</u>	<u>(22,090)</u>	<u>733,901</u>
営業利益 (又は損失)	<u>13,066</u>	<u>18,204</u>	<u>(104)</u>	<u>2,183</u>	<u>33,349</u>	<u>20,116</u>	<u>53,465</u>	<u>196</u>	<u>53,661</u>
金融収益									6,577
金融費用									(1,199)
持分法による投資利益									1,433
税引前四半期利益									<u>60,472</u>

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額196百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	35,317	35,814
販売促進費	21,057	20,631
従業員給付費用	77,027	79,736
減価償却費	9,243	8,646
償却費	4,202	4,255
研究開発費	29,593	30,480
その他	32,314	35,455
合計	<u>208,753</u>	<u>215,017</u>

(7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。